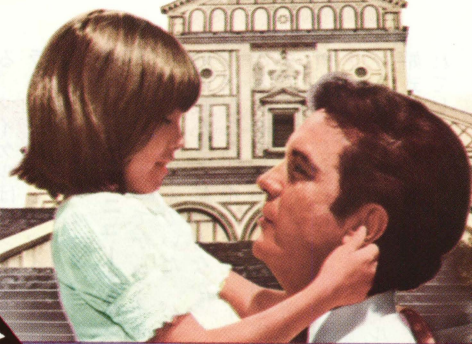


OBSSESSION



愛するエリザベスとの
思いがけない永遠の別離！
その悲しみを胸に秘め
想い出のフロレンスを訪れた…
だが信じられない人が
彼を待っていた

全クシードライバの脚本家ポール・シュレイダーと
全キャリアの鬼才ブライアン・デ・パルマ監督が
本格的に取組んだミステリアスなロマン大作！



愛の女王

クリフ・ロバートソン
ジュヌヴィエーブ・ピュジョルド
ジョン・リスゴウ

製作/ジョージ・リットー ◆ 脚本/ポール・シュレイダー/ブライアン・デ・パルマ
監督/ブライアン・デ・パルマ ◆ 撮影/ビルモス・ジグモンド
音楽/バーナード・ハーマン ◆ カラー作品 ◆ アメリカ映画
〈セントラール〉ロンドン・レコード



JOY BACK
SHIRAZI FILM PRESENTS

愛の罠 OBSESSION

〈カラー作品〉
スタッフ

製作……………ジョージ・リットー
監督……………ブライアン・デ・パルマ
脚本……………ポール・シュレイダー
……………ブライアン・デ・パルマ
撮影……………ビルモス・ジグモンド
音楽……………バーナード・ハーマン

キャスト
クリフ・ロバートソン
ジュヌビエーブ・ピュジョルド
ジョン・リスゴウ



★幻想の愛からときめきの愛へ

実業家のマイケルは16年前の悪夢から今も逃れることは出来なかった。何者かの手によって妻エリザベスと娘エミーを誘拐され、死なせてしまった。——犯人側の要求通り、警察に知らせず50万ドルを支払えばよかった。地位、身分、財産全てを失ったけれども——愛する者を失った悔みが今も深い霧の様に心の中をおおっていた。会社は協同事業者のロバートと上手く順調に伸びていた。マイケルはロバートと商用で妻と出会ったフロレンスへ行くのだった。運命のいたずらか偶然か、妻とそっくりの娘サンドラに会った。「神はもう一度、私にチャンスを与えてくれた」マイケルはそう思った。二度とこの女を失いたくない。この愛を再びマイケルは生きる希望を見い出すのだった。だが、サンドラが現われたのは偶然なのだろうか。

★デ・パルマとシュレイダー

監督ブライアン・デ・パルマ、脚本ポール・シュレイダー。共に今、アメリカ映画界を代表し、注目を浴びている映画人である。デ・パルマが撮った「キャリー」はオカルト映画としてだけでなく、青春映画としても高い評価を受け、観客を動員した。ワンカット、ワンカットを緻密に計算し、蛇行しながら流れる川の様に展開する映像は麻薬のごとく陶酔感がある。シュレイダーが書いた「タクシードライバー」はカンヌ映画祭でグランプリ

●TECHNICAL CREDITS

Executive Producer: Robert S. Bremson/
Produced By George Litto and Harry N. Blum/
Directed by Brian DePalma/
Story by Brian DePalma and Paul Schrader/
Screenplay by Paul Schrader/
Music: Bernard Herrmann/
Director of Photography: Vilmos Zsigmond.

●THE CAST

CLIFF ROBERTSON
GENEVIEVE BUJOLD
JOHN LITHGOW

★美しき街フロレンス

街にはルネッサンス時代の彫刻が林立し、すぐれた絵画が古い建築物の中に過去の思い出を秘めて飾られている。マイケルはサンドラと会い、再び愛を得た。サンドラの母が病死し、マイケルはサンドラとの結婚を固く決意する。

★哀しみの街ニューオリンズ

妻と娘を失ってからマイケルは広大な邸宅にメイドと二人きりで住んでいた。パーティーを開くこともなく、家庭の暖かさも笑いもなかった。住むことになったサンドラは奇妙な態度を示すようになる。階段の手すりに頬を寄せたり、広間にかかっているエリザベスとエミーの消画像を見つめ、なおかつエリザベスの部屋にはいる。そして、そこで発見したものは……。

★ピュジョルドのアダルトな魅力

「大地震」「カリブの嵐」と出演し、日本でも人気が出て来た。きゃしゃな体の中に女の激しく燃える一途な情念を秘めている。この作品でも優雅さと気品を持つ人妻と憎しみから愛に転じる万華鏡の様な感情を持つ娘の二役をドラマチックに演じている。

★愛の証しに全てを賭けるラストシーン

カバンから50万ドルの札が舞い散る。拳銃を構えて走るマイケル。そして、サンドラは……。画面はスローモーションとソフトフォーカスになり、バーナード・ハーマンの音楽が感動的な効果を与える。愛の昂揚感が華麗に展開されるシーンは忘れられない程印象的だ。

新春ロードショー

*お得な特別鑑賞券 ¥1000 (一般1300円/学生1100円の処) 発売中!!

有楽町 日劇前
宝東 1 (571)
シネマ 1946